

# 167 おのやまけ 小野山家のエドヒガン



指 定 市天然記念物 平成9年3月14日  
 所在地 春 日  
 所有者 小野山 駿吉



植物分類上は、バラ科、サクラ属、エドヒガン（江戸彼岸）である。別名をアズマヒガン、ウバヒガンなどとも言う。

この桜の古木は、春日向反の小野山家の墓地にあり、通称小野山桜とよばれている名木である。昭和24年（1949）、小野山嘉七郎氏の尽力でかつて県から天然記念物の指定を受けたが、昭和40年（1965）3月31日に指定解除され現在に至る。

目通り幹周4.7m余、直径1.3m余、高さ15m余、樹齢500年位、県下にこの種の桜は各地にあるが、このような大木は少ない。5月1日前後が満開である。

樹下に自然石の句碑がある。 —立かえり入相惜む桜哉—

春の彼岸の頃に花が咲き、江戸（東京）に多く植えられていたのでこの名があるが、全国的に分布の広い野生種で、日本のサクラ属の中では最も寿命の長い樹木である。